



【ちょっと一休み】

今年度から相談支援連携部長・教育相談コーディネーターの橋爪京子です。昨年、湘南養護学校に転任しました。教育相談のお仕事は、伊勢原養護・平塚養護でも行っていたので、地域の方々には顔見知りの方が多いので少し安心しています。普段は、朝9時過ぎくらいから正門前で「おはようございます！」と交通安全の赤い棒を振っていますのでお気軽にお声掛けください。

作業療法士の船本有紀です。作業療法（Occupational Therapy）は頭文字をとってOTと言ったり、作業療法士もOT呼ばれたりもします。OTはリハビリテーションのひとつですが、学校では個別にリハビリはしません。では「何をするのか？」というお子さんが困っていること、気になること（姿勢が崩れてしまう、運動が苦手、道具を上手く使うには？集中時間が短いなど）について先生と一緒に支援方法を考えます。保護者の方からもお子さんについて気になることがありましたら、気軽に声を掛けてください。

臨床心理士の小川浩平です。臨床心理士はカウンセラーとして、先生方や保護者の皆さんの相談に対応しています。子育てや子どもの成長の悩みについて、今ご家庭で取り組んでいることにちょっと工夫を加えることで、子どもにとっても接する大人にとってもずいぶんと楽になることもあります。毎日接している中で、何か気になることがございましたらお声かけください。

【子どもたちと毎日の生活をつなぐヒント】

《世界の成り立ち》

この世界は約束事で成り立っています。物には名前があり、それにふさわしい扱い方があり、身に付けなければならないスキルや振る舞い方、こうしたものはすべて人と人との間の約束事で成り立っています。

例えば、物には名前があるため「何が欲しいか」「何らかのやり方」で伝えなければ欲しい物が手に入りません。食事の前には「いただきます」と唱えてから食事に手をつけることを求められます。こうした約束事の世界で私たちは暮らしています。いつも思うのは、こうした約束事をわかりやすく翻訳してあげて、この世界の攻略法を子どもたちに教えていくことの大切さです。

小学部の保護者の方に「ADLを教えていくことと、お手伝いをするものの大切さ（意味）」についてお話をすることがあります。ADL（身辺自立）や家のお手伝いは、将来を見据えた視点で語られることが多いのですが、そればかりでなくその行為の中には、世界の約束事を理解して攻略するためのアイテムが含まれます。

例えば、「着替えを持って更衣室に行く、服を脱ぐ、服の前後を間違えないように着る、服を畳む、畳んだ服をかごに入れる、ロッカーにしまう」などの行動、家庭での「洗濯物を取り込む、夕食の配膳・片付け・洗い物、お風呂の浴槽洗い」などの行動の中には、「識別」、「方向」、「段取り（スケジュール）」、「行動を調整すること」、「空間の中の手がかりを活用すること」といったこの世界の約束事を攻略するために必要なアイテムが含まれています。私の仕事はこのアイテムを増やしていくこと、そしてアイテムを活用しやすいように一緒に考えお手伝いしていくことです。

《体の違和感》

急に背が伸びる時期つまり思春期の入り口で、子どもたちが不安定になってしまうことがあります。中学部の担任をやっていた頃、そうした不安定な子どもたちを教室にかかっているカーテンや校内宿泊学習で使った毛布で「ギュッ！」とくるんで遊んでいました。「ギュッ！」と、くるまりがたる自閉症スペクトラムの子どもたちは、周囲の状況理解が難しいといった子どもたちでした。

背が伸びるということは、身体感覚がそれまでとは変わってきます。背が伸びて体が大きくなり、神経・筋肉が引っ張られる身体感覚は「自分の体への漠然とした違和感」となります。こうした「違和感」は、無意識のうちに自分の体に関して常に注意が払う状態になり、その分だけ、身の回りで起きることに対する情報処理が追いつかなくなります。自分の体への過度な注目状態が続くことが「イラだち」です。さらに、情報処理のキャパが少ないため、できるだけ「これまでと同じであること」に固執します。これが「こだわり」です。

こうした子どもの担任となったときは、体力づくりで心と体を整え、課題学習で注意を自分の体から外界へ向けることを教えて、何よりもたくさん一緒に遊んでいました。中学部で行うことの一つに、こうした「身体感覚を再調整すること」が含まれます。中学部では、自分の体の変化に振り回されていることに配慮することも大切になります。

《新1年生のスタートでよくあることと 私たちが行う支援》

高等部への入学は、「誰と出会い、何をするのか」という期待と不安です。誰もが「良いスタートをきりたい」と考えています。私たちは新入生が不安を抱えながらも前へ進めるように一緒に歩み、励まし、見守り、時には慰めて、一歩ずつ前へと進んでいることが実感できるような働きかけをしていきたいと思います。

【漠然とした不安から生じる登校しぶり】

- ・新学期には「よいスタートをきりたい」との思いで登校しますが、だんだん登校をしづらくなってしまい、生活習慣も乱れてしまうことがあります。・・・(ユーモアあふれるクラス作りや、学習内容が将来の自分にとって大切なことであると伝えることが大切になります。)

【LINE などSNSのトラブル】

- ・スマホ等を初めて持ち、嬉しい気持ちとともに、会ったこともない初めて出会った人といきなりアドレス交換などをしてしまい、LINE のやりとりが不適切な言葉を書き込んでしまい、トラブルになることも。・・・(ご家庭とともにLINE の使い方を授業などで確認を行うことも大切になります。)

【バスのエチケット・マナー】

- ・バス停での乗車の待ち方やバス車内での過ごし方のマナーを、つつい友達とのやり取りがうれしくて忘れてしまう。・・・(バス乗車に伴うマナーを授業などで確認したり登下校指導を行います。)

日々の学校生活を大切にそして丁寧に過ごしていければと思います。

保護者のみなさまもお気軽に、いつでもどんなことでもお声をかけてください。

一年間、よろしくお願いします。

(支援連携部 橋爪)